

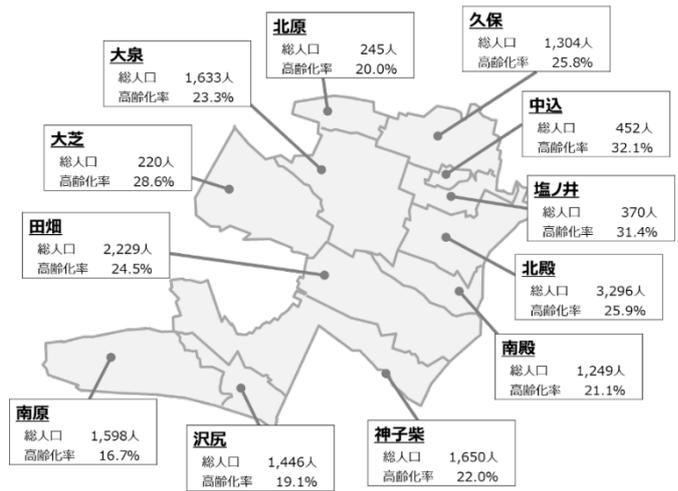
資料編

1 地区カルテ

(1) 地区カルテとは

住んでいる地域のことを知り、チャレンジできることを考えるきっかけとして活用していただくため、12地区別に「地区カルテ」を作成しました。

地区カルテでは、地区の人口をはじめとした基礎的な統計情報や村民アンケート、地域での活動の情報等をまとめています。



(2) 地区カルテの見方・掲載情報等

地区カルテは「人口・世帯等の特徴」と「地域での活動や福祉課題、必要な取組み等」の大きく2つのパートで構成されています。掲載されている情報の出典、定義・注意事項は以下のとおりとなっています。村民アンケートをもとにした情報は、回答数が少ないこともあり、地区の傾向をみる参考値として参照してください（アンケート結果には「※A」と表示）。

■ 人口・世帯等の特徴

地区の人口・世帯等の特徴を村全体の平均との比較も行いながら整理しています。地区の人口の年齢分布や支援が必要な方がどれくらいいるのか、区・組への加入状況、ご近所付き合いの程度などを把握することができます。

掲載データ	定義・注意事項	出典
<ul style="list-style-type: none"> 人口の構造 	高齢者福祉関連の施設入居者が 含まれた 数値。	住民基本台帳（令和3年12月1日）
<ul style="list-style-type: none"> 3区分年齢人口 高齢化率 	高齢者福祉関連の施設入居者を 除いた 数値。	住民基本台帳（平成28、令和3年） ※各年12月1日
<ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者世帯数 要支援・要介護認定者数 要支援・要介護認定率 	人口、世帯数から、高齢者福祉関連の施設入居者を 除いた 数値。認定率は高齢者人口のうち要支援・要介護認定者の占める割合。	南箕輪村健康福祉課
<ul style="list-style-type: none"> 世帯数 1世帯あたり人員 	高齢者福祉関連の施設入居者を 除いた 数値。	住民基本台帳（平成28、令和3年）※各年12月1日
<ul style="list-style-type: none"> 持ち家の割合 	居住形態にて「持ち家（一戸建て）」または「持ち家（マンション・アパート）」と回答した者の割合。	南箕輪村地域福祉計画策定に係る村民アンケート(令和3年度)
<ul style="list-style-type: none"> 移住者の割合 	居住経験にて「生まれてから南箕輪村にずっと住んでいる」「南箕輪村生まれだが、村外での居住経験がある」「村外から転入してきた」のうち、「村外から転入してきた」と回答した者の割合。	
<ul style="list-style-type: none"> 区・組への加入状況 	アンケート結果をもとに算出した数値（参考値）であり、図表15の持ち家世帯の区加入率の推移とは異なる。	
<ul style="list-style-type: none"> ご近所付き合いの状況 	新型コロナウイルス感染症拡大前のご近所付き合いの状況の回答結果。	

■ 地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

地区で行われている主な活動や、地域における支え合いへのニーズと支援意向、地域における福祉課題や必要な取組みをまとめています。現在、どのような地域活動が行われているか、今後、どのような活動が求められているのかがわかります。

掲載データ	定義・注意事項	出典
<ul style="list-style-type: none"> 地域の主な活動 	地区社協の令和元年度の活動やサロンなどの有志の活動を記載。	南箕輪村健康福祉課
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること 	<p><u>頼りたいこと</u>：日常生活で、ご近所や地域の人に頼りたいことについて、「現在、頼っている」「できればすぐにでも頼りたい」「近い将来、頼りたい」のいずれかを回答した者の人数。</p> <p><u>サポートできること</u>：住んでいる地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、介護、子育てなどで困っている家庭にサポートできることの回答結果。</p>	南箕輪村地域福祉計画策定に係る村民アンケート(令和3年度)
<ul style="list-style-type: none"> 福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと 	お住まいの地域において、福祉課題として感じ、検討が必要だと思うことについての回答結果。	
<ul style="list-style-type: none"> 地域で集まるためにあったらいい場 	地域(地区)で住民が集まるために、どのような場があったら良いと思うかについての回答結果。	
<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取組み 	地域のつながりや活動をもっと活発にしていくために必要な取組みについての回答結果。	
<ul style="list-style-type: none"> 地区社協に期待する取組み 	今後、さらに期待する「地区社協」の取組みについての回答結果。	

■ 各地区の掲載ページ

久保	P 63	北殿	P 69	神子柴	P 75	大芝	P 81
中込	P 65	南殿	P 71	沢尻	P 77	大泉	P 83
塩ノ井	P 67	田畑	P 73	南原	P 79	北原	P 85

地区カルテを見ながら、ぜひ検討してみてください！



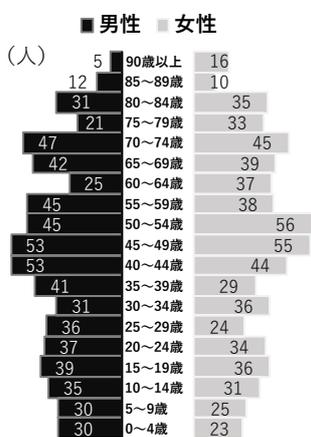
久保区

村の北に位置し、箕輪町と接しています。国道 153 号沿線には、遊戯施設や飲食店が多く立ち並び、段丘の中段は、雪解け水や水田からの浸透水により豊富な湧水に恵まれ、北沢、南沢、滝ノ沢などにはわさび畑が点在しています。久保上ノ平遺跡からは、全国でも非常に珍しい人体文様の有孔罽付土器が出土しています。

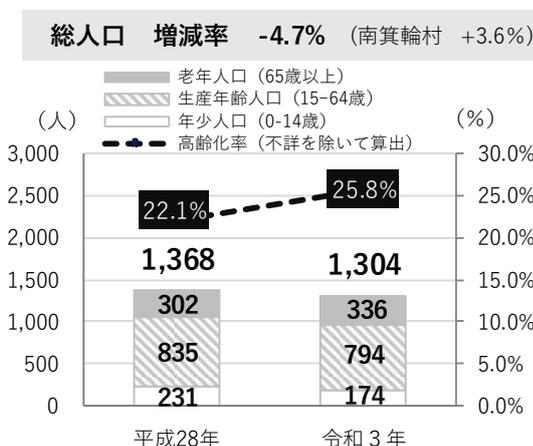
■人口・世帯等の特徴

- 総人口は、平成28年から令和3年にかけて4.7%減少しています。年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口が増加したことで高齢化率は上昇しており、25.8%となっています。
- 村全体よりも、持ち家の割合が低く、区・組への加入率、ご近所付き合いをしている割合が低い傾向にあります。

人口の構造（令和3年度）



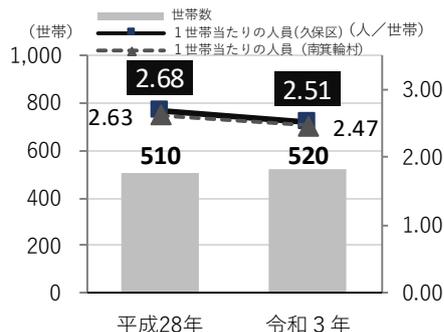
3区分年齢人口と高齢化率



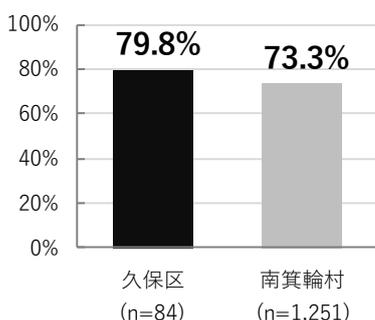
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



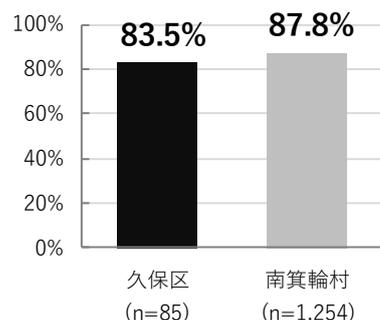
世帯数・1世帯あたり人員



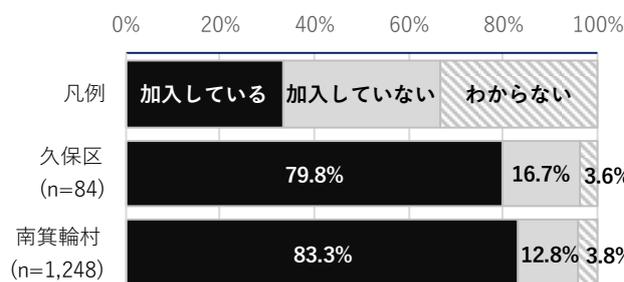
移住者の割合 (※ア)



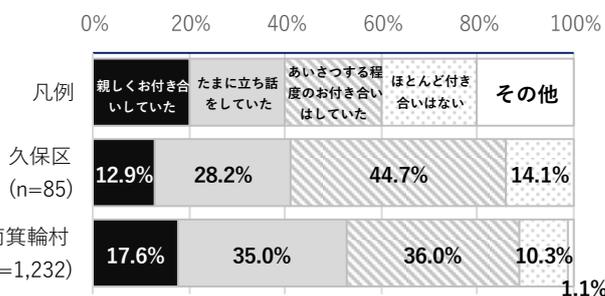
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

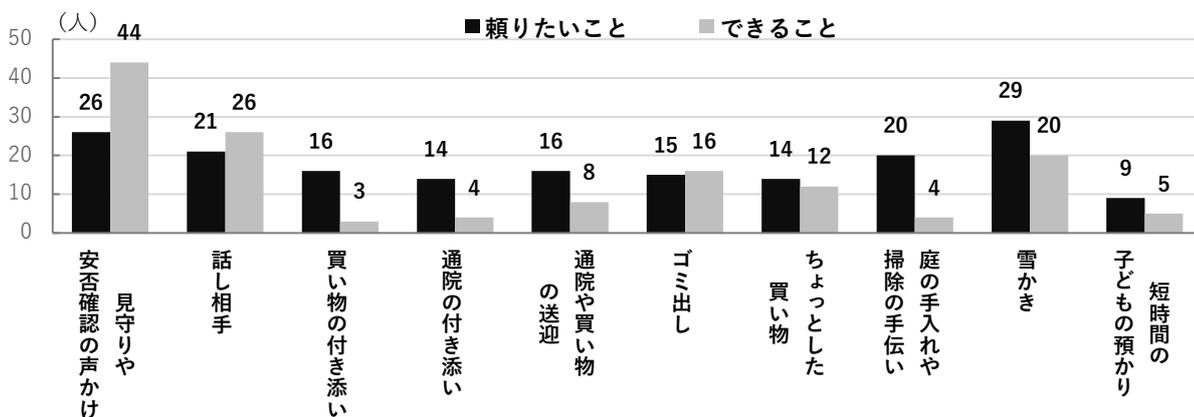


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、様々な企画が行われています。有志による活動やサロン等も多くあります。
- 日常生活の中で頼りたいこととしては、「雪かき」が最も多く、次いで「見守りや安否確認の声かけ」です。
- 地区の福祉課題としては「課題があるかどうか、わからない」や「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多くなっています。地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは、「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちとの交流（新入生歓迎会、読みきかせ、工作等） ● 花壇の手入れ ● クリーンウォーク（地区内の清掃活動） ● 果実の収穫（いちご狩り、ぶどう狩り） ● 童話かるた大会 ● 区民祭の展示品作り ● お花見、お茶会、温泉を通じた交流会
	有志によるサロン等 <ul style="list-style-type: none"> ● セジュール（地区を越えた手芸を楽しむサロン） ● 区民祭でのバザー ● 久保老人クラブ ● ゆいの会（地域の歴史の伝承）

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと(n=83)	■ 課題があるかどうか、わからない(31.3%)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している(30.1%)	■ 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない(26.5%)
地域で集まるためにあったらいい場(n=80)	■ 特に目的がなくても居られる場(46.3%)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場(45.0%)	■ 気軽におしゃべりが楽しめる場(38.8%) ■ 趣味や教養を学ぶ場(38.8%)
地域のつながりや活動を活発にしていけるために必要な取組み(n=83)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(47.0%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる(36.1%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(27.7%)
地区社協に期待する取組み(n=79)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い(30.4%)	■ わからない(26.6%)	■ 送迎サービス(24.1%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

中込区

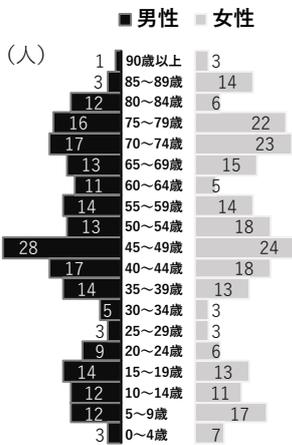
昭和 40 年代の県営住宅団地造成事業により造成された中込団地が、昭和 50 年に中込区となりました。約 120 戸の団地と県営住宅で区が形成されており、村内で最も新しく、人口密度が高い地区です。

■人口・世帯等の特徴

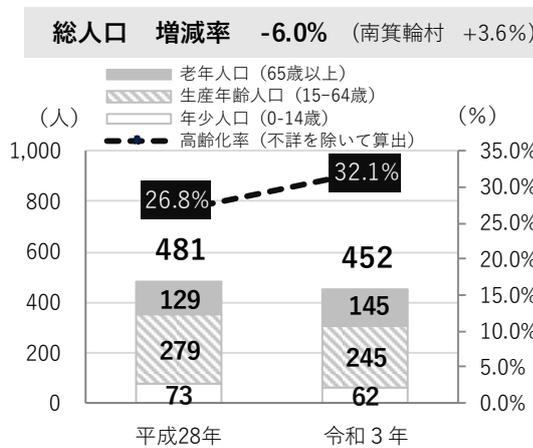
- 人口の構造は、若年層（特に25-29歳）が少なくなっています。平成28年から令和3年にかけて総人口は6.0%減少しています。
- 高齢化率は令和3年時点で村の中で最も高くなっています。単身高齢者世帯数も増加傾向です。
- 村全体に比べ、持ち家の割合が高く、区・組への加入率は96.8%と高い傾向です。

単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率

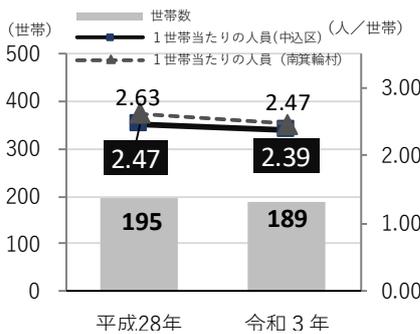
人口の構造（令和3年度）



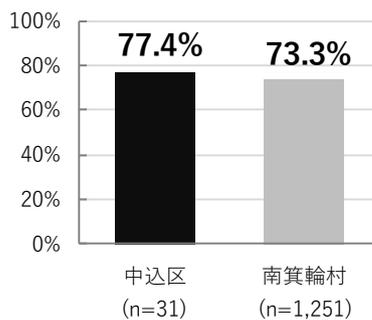
3区分年齢人口と高齢化率



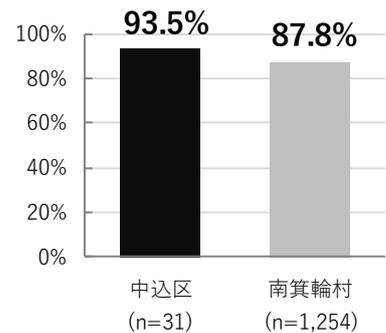
世帯数・1世帯あたり人員



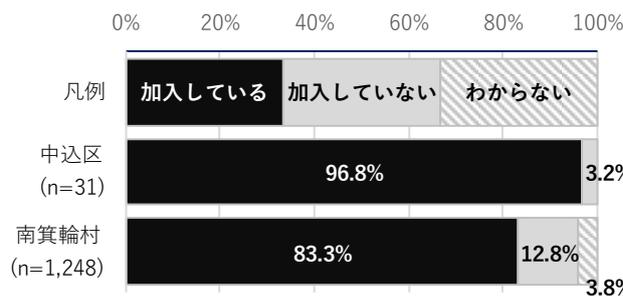
移住者の割合 (※ア)



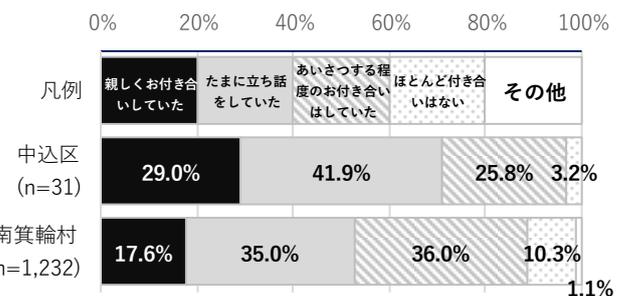
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

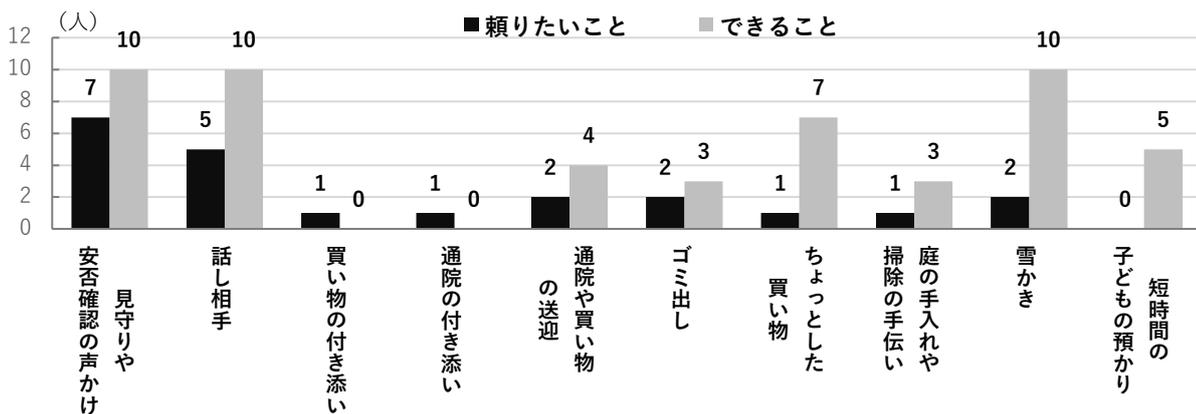


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、「井戸端会議」や「ラジオ体操」などが行われています。
- 日常生活の中で頼りたいことは「見守りや安否確認の声かけ」が多くなっています。多くの項目で、頼りたい人よりもサポートできる人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「課題があるかどうか、わからない」が多く、次いで「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多くなっています。
- 地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みとしては、半数が「住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる」を挙げています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ● 井戸端会議（お茶飲み交流、簡単な体操、唱歌、講座など）＜毎月実施＞ ● 北部保育園との交流 ● お出かけ会 ● ラジオ体操＜7月末～8月中旬＞ ● 中込祭り
-------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=30)	■ 課題があるかどうか、わからない(36.7%)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している(33.3%)	■ 車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる(20.0%)
地域で集まるためにあつらい場 (n=29)	■ 気軽におしゃべりが楽しめる場(41.4%)	■ 特に目的がなくても居られる場(37.9%)	■ 簡単な体操など、体を動かす場(34.5%) ■ 趣味や教養を学ぶ場(34.5%)
地域のつながりや活動を活発化していくために必要な取組み (n=28)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる(50.0%)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(46.4%)	■ 区・組の活動や子ども会、老人クラブなどの活動にもっと参加しやすくする(25.0%)
地区社協に期待する取組み (n=28)	■ わからない(50.0%)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い(28.6%)	■ 送迎サービス(25.0%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

塩ノ井区

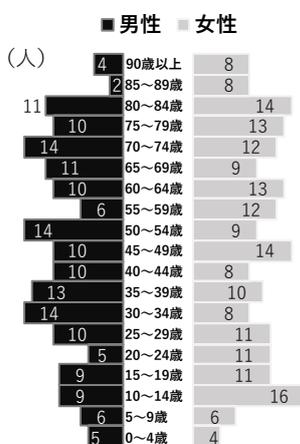
地区内の国道 153 号沿いには大型店舗が進出しています。湧水によるわさび栽培なども行われています。西光寺に残る木版刷り大般若経は、600 巻そろった貴重なものです。

■人口・世帯等の特徴

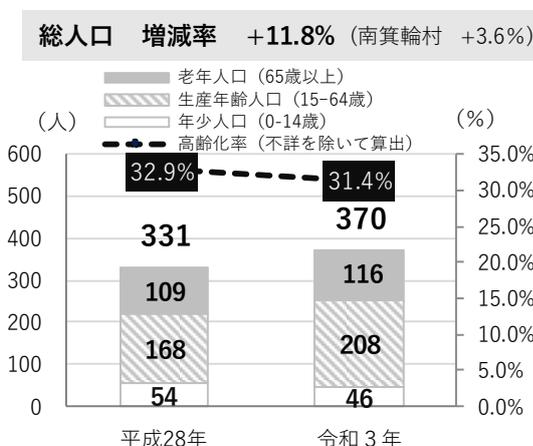
- 人口の推移をみると、平成28年から令和3年にかけて総人口は11.8%増加しています。村全体よりも高齢化率は高いですが、低下傾向です。
- 村全体よりも、移住者の割合が低く、持ち家の割合が高くなっています。区・組への加入率は村の中で最も高く、ご近所付き合いをしている割合も村全体より高い傾向にあります。

単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率

人口の構造（令和3年度）

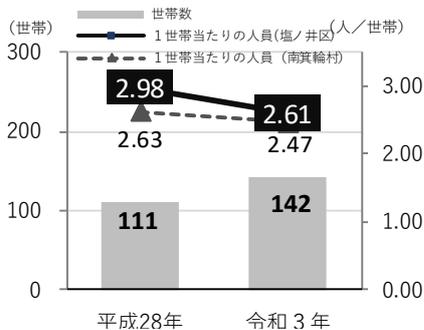


3区分年齢人口と高齢化率

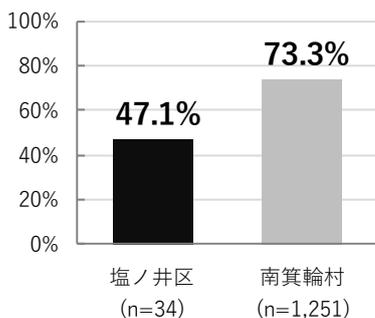


高齢化率	31.4%
(南箕輪村 23.3%)	
単身高齢者世帯数	15世帯 (H28)
	16世帯 (R3)
要支援・要介護認定者数	20人
要支援・要介護認定率	17.2%
(南箕輪村 11.6%)	

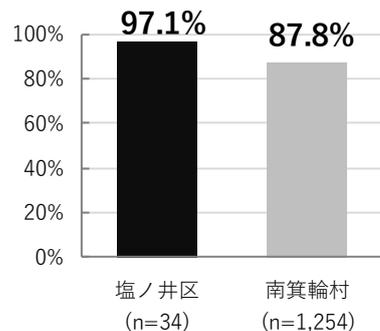
世帯数・1世帯あたり人員



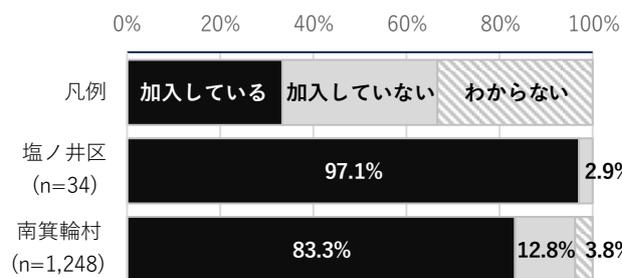
移住者の割合 (※ア)



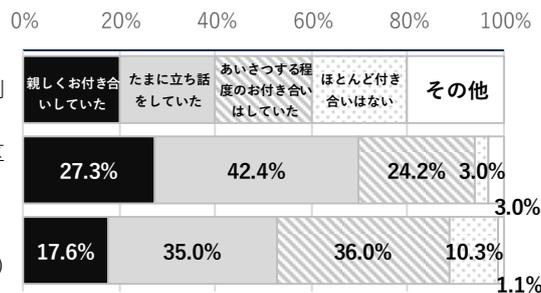
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

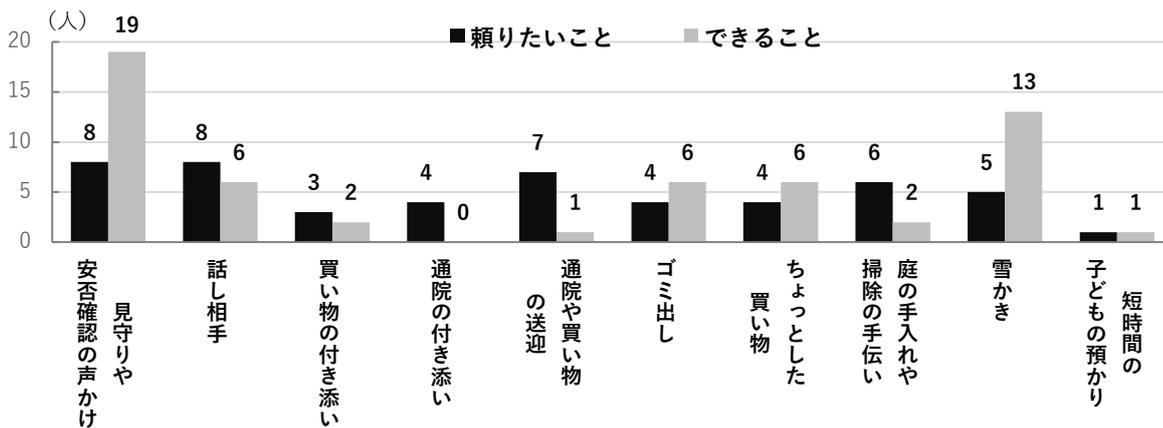


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、月に1回程度「茶話会とカラオケを楽しむ会」などが行われています。
- 「見守りや安否確認の声かけ」や「雪かき」は、頼りたい人よりもサポートできる人が多くなっています。一方で「買い物・通院の付き添い・送迎」において頼りたい人がサポートできる人を上回っています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が57.6%と多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度）	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 茶話会とカラオケを楽しむ会 ＜月1回程度＞ ● 神社の清掃、花壇整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生との交流（クリスマス会、天神様） ● 出前講座の開催 ● 研修旅行 ● お花見、忘年会

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと(n=33)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している(57.6%)	■ 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない(15.2%)	■ 働きながら子どもを育てにくい環境になっている(12.1%) ■ 課題があるかどうか、わからない(12.1%)
地域で集まるためにあつたらいい場(n=34)	■ 気軽におしゃべりが楽しめる場(41.2%)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場(38.2%)	■ 特に目的がなくても居られる場(38.2%)
地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取組み(n=32)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(37.5%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる(31.3%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(31.3%)
地区社協に期待する取組み(n=31)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い(35.5%)	■ 高齢者の交流の場(32.3%)	■ 高齢者と子どもなど多世代の交流の場(25.8%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

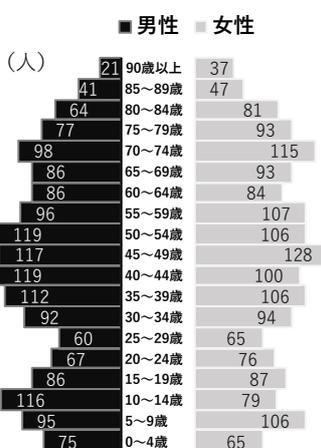
北殿区

古くは伊那街道の宿場町として栄えました。村内で最も人口の多い地区で、保育園・小中学校、公民館、体育館、郵便局、商工会館など公的施設が数多く、段丘下段では工業が盛んです。村指定天然記念物のエドヒガンザクラ、村指定文化財の新四国霊場があります。

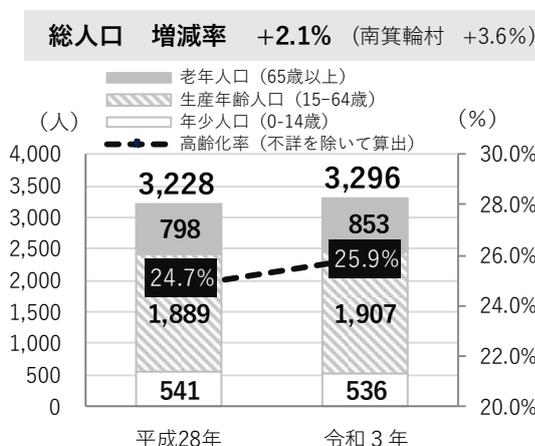
■人口・世帯等の特徴

- 人口の構造は、つりがね型となっており、安定した構造です。平成28年から令和3年にかけて総人口は2.1%増加しています。
- 村全体よりも、持ち家の割合が高く、区・組への加入率も高い傾向です。

人口の構造（令和3年度）



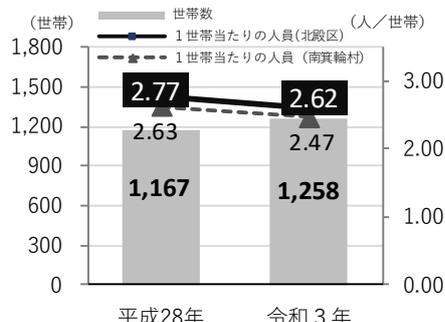
3区分年齢人口と高齢化率



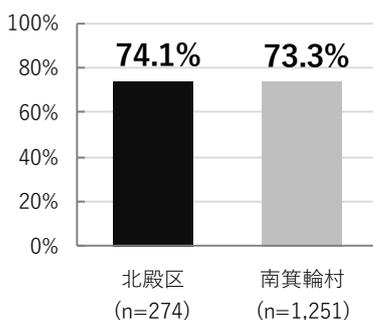
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



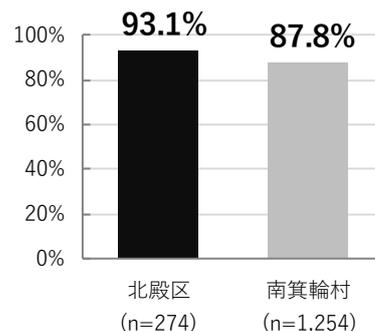
世帯数・1世帯あたり人員



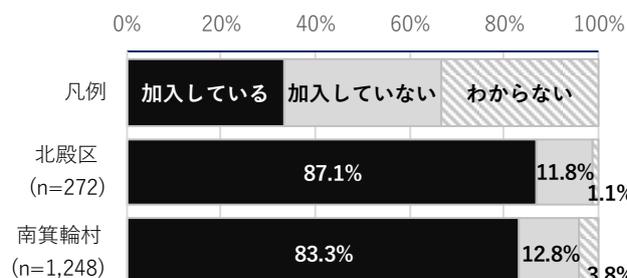
移住者の割合 (※ア)



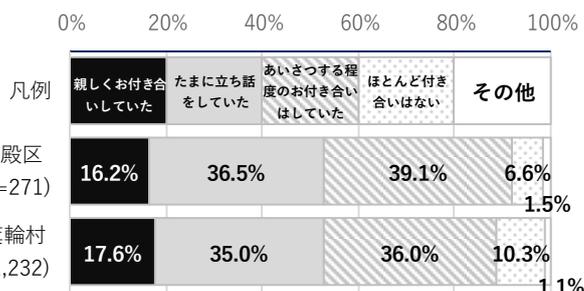
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

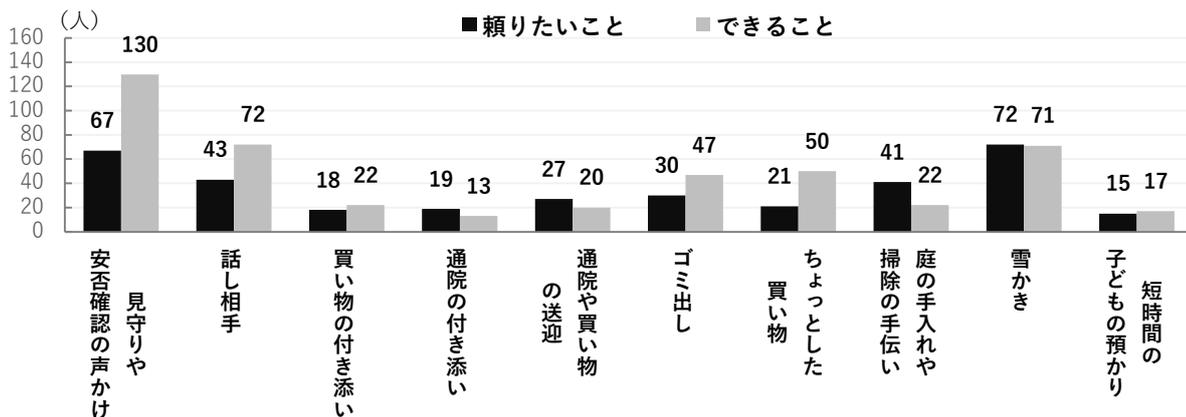


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区には、地区社協による定期的な活動があり、有志によるサロン等も多くあります。
- 多くの項目で日常生活の中で頼りたいことがある人よりも、サポートできる人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは、「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度）
	<ul style="list-style-type: none"> ● サロンきたとの＜偶数月＞ ● シニア世代交流会＜奇数月＞
	有志によるサロン等
	<ul style="list-style-type: none"> ● まんどを振る会 ● きめこみ ● オリーブカフェ（かつての喫茶店でのサロン） ● あったかさん（宅老所でのサロン） ● いきいきアート（絵画の同好会） ● 楽笑会（和楽器や工作など地域を超えた多彩な活動） ● 北殿老人クラブ ● 支え合いお茶飲み会 [※自然な支え合い]（独居者などが声をかけあって情報交換）

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=259)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (33.6%)	■ 課題があるかどうか、わからない(25.5%)	■ 車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる(19.7%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=267)	■ 趣味や教養を学ぶ場 (34.1%)	■ 特に目的がなくても居られる場(32.6%)	■ 気軽におしゃべりが楽しめる場(31.5%) ■ 子どもや若者など多世代と交流できる場(31.5%)
地域のつながりや活動を活発にしていくなために必要な取組み (n=261)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(43.7%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (27.6%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(24.1%)
地区社協に期待する取組み (n=251)	■ わからない(32.3%)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (30.7%)	■ 送迎サービス(23.1%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

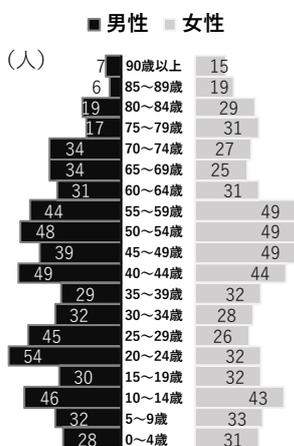
南殿区

役場、図書館、村民センター、駐在所など、北殿区と並び公的施設が多い地区です。地区内にある殿村八幡宮は北殿区と共通の氏神であり、その境内樹林帯は村天然記念物に指定されています。また、八幡宮の祭りでは奉納相撲が行われています。この他にも、近世の貴重な文書等を蔵した太宗館文庫や、伝承に残る湧水、不死清水があります。

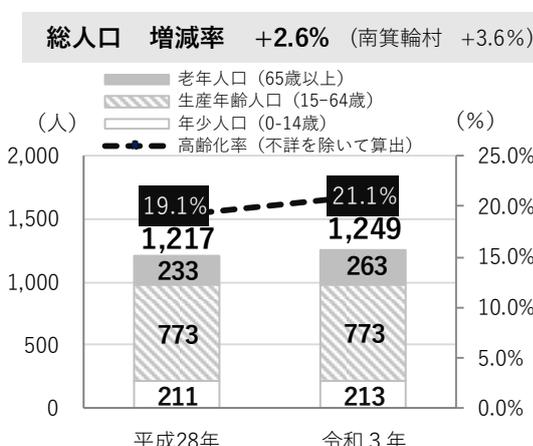
■人口・世帯等の特徴

- 総人口は、平成28年から令和3年にかけて2.6%増加しています。高齢化率は村全体よりも低いですが、単身高齢者世帯数は増加しています。
- 村全体よりも、持ち家の割合が高く、区・組への加入率も高い傾向です。

人口の構造（令和3年度）



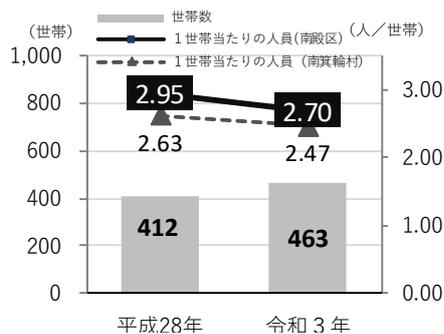
3区分年齢人口と高齢化率



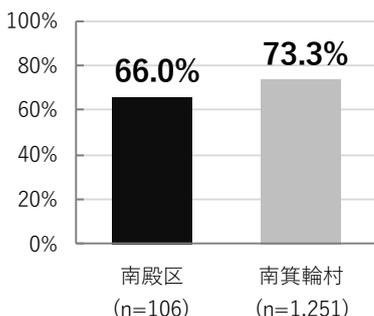
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



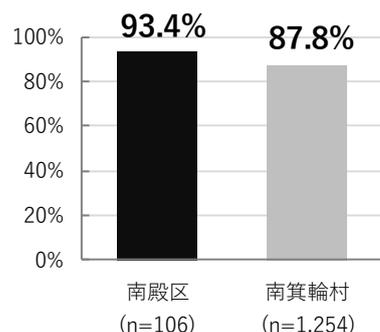
世帯数・1世帯あたり人員



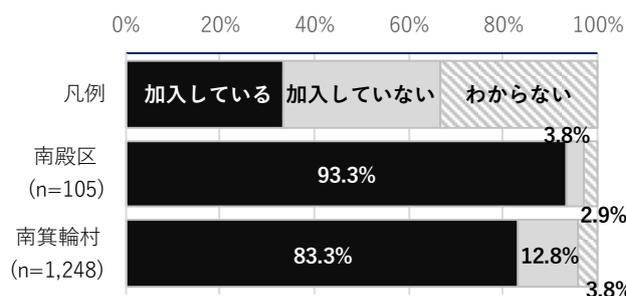
移住者の割合 (※ア)



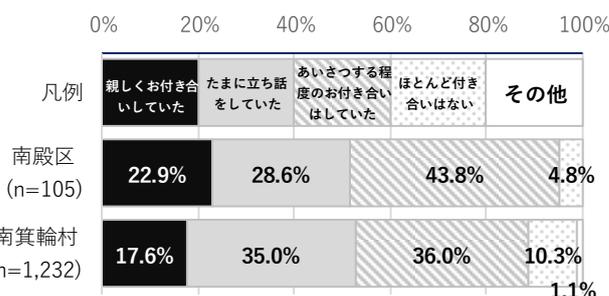
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

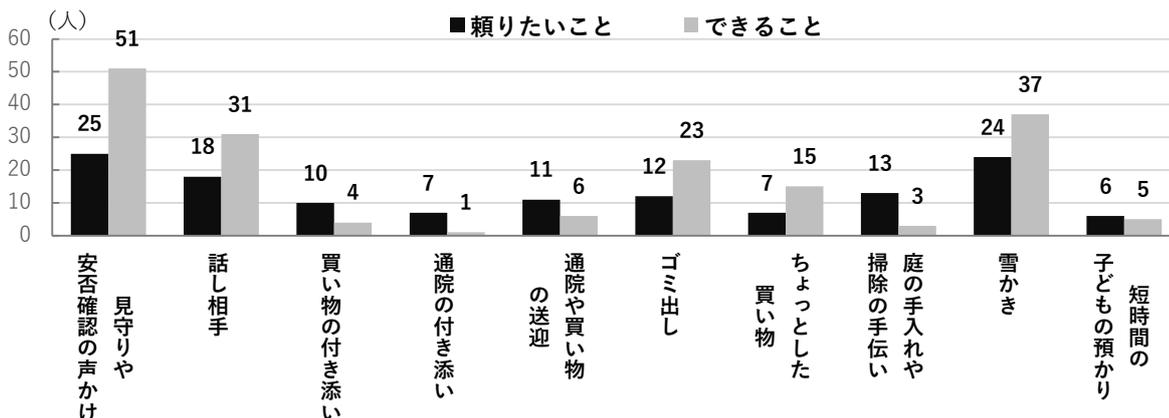


■地域での活動や福祉課題、必要な取り組み等

- 地区社協では、児童との交流会などが行われています。また、老人クラブ「老壮会」や、自然な支え合いである「喫茶店で定例お茶会」などもあります。
- 多くの項目で日常生活の中で頼りたいことがある人よりも、サポートできる人が多くなっています。しかし、「通院・買物の付き添い・送迎」や「庭の手入れや掃除の手伝い」は頼りたい人が上回っています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ● 児童との交流会（南殿ふれあいサマーフェスタ・南殿区民祭への参加） ● 日帰りバスツアー ● 出前講座の開催
	有志によるサロン等 <ul style="list-style-type: none"> ● 老壮会（老人クラブ） ● 喫茶店で定例お茶会 [※自然な支え合い]

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取り組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=101)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (36.6%)	■ 課題があるかどうか、わからない(31.7%)	■ 車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる(18.8%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=102)	■ 特に目的がなくても居られる場(36.3%)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場 (33.3%)	■ 趣味や教養を学ぶ場 (31.4%)
地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取り組み (n=98)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(45.9%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (30.6%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取り組みを強化する(20.4%)
地区社協に期待する取り組み (n=96)	■ わからない(35.4%)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (29.2%)	■ 高齢者の交流の場(19.8%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

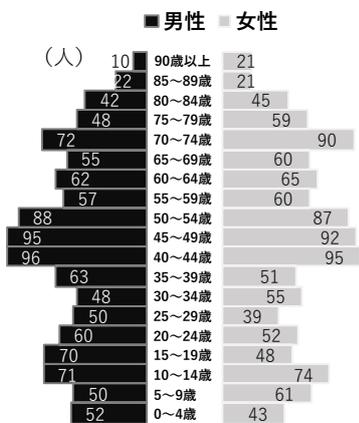
田畑区

天竜川沿岸では工業、段丘上・中段の農地では稲作のほか、花き、りんごの栽培も盛んです。奇習「盆正月」や、清流「半沢」を整備して蛍を育成するなど、特色ある地域での活動が行われています。

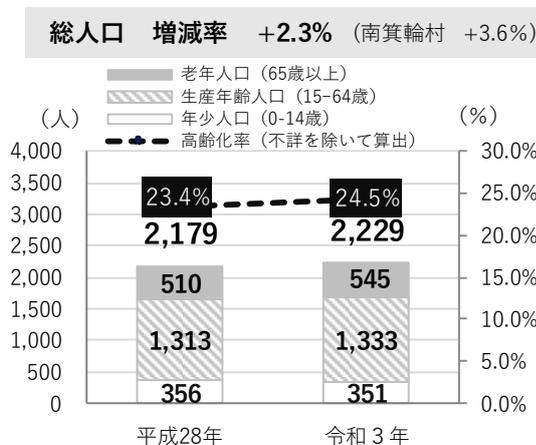
■人口・世帯等の特徴

- 総人口は、平成28年から令和3年にかけて2.3%増加しています。
- 村全体よりも、持ち家の割合は高いですが、区・組への加入率やご近所付き合いをしている割合は村全体と同水準程度となっています。

人口の構造（令和3年度）



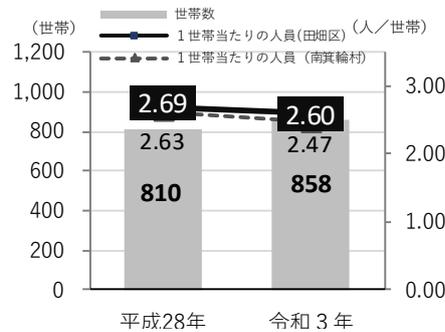
3区分年齢人口と高齢化率



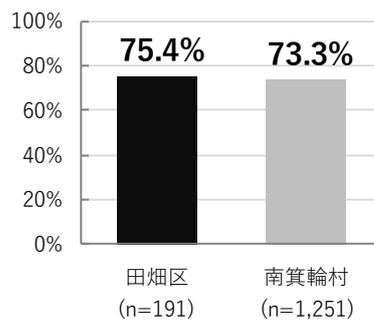
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



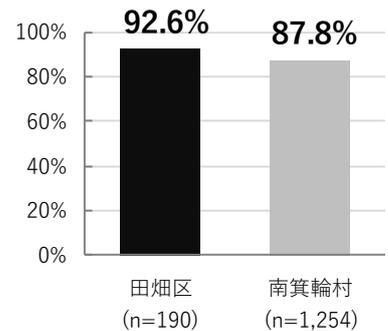
世帯数・1世帯あたり人員



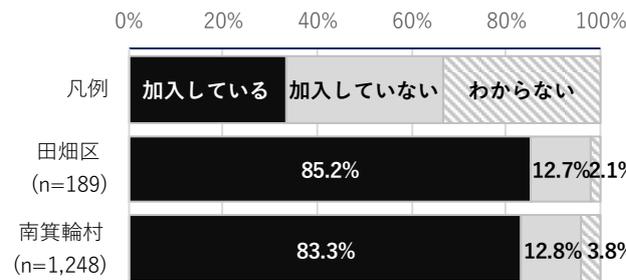
移住者の割合 (※ア)



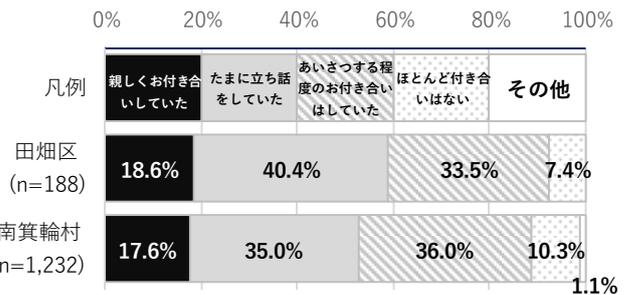
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

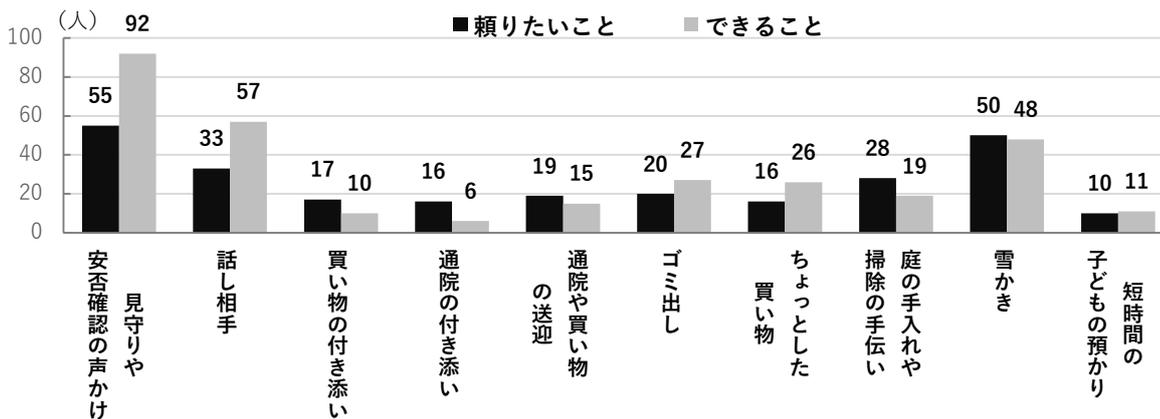


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、月に1回程度「陽だまり定例会」が行われています。有志によるサロン等も多くあります。
- 「見守りや安否確認の声かけ」や「話し相手」で頼りたい人よりも、サポートできる人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては、「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは、「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度）	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 陽だまり定例会<月1回程度> ● クリスマス会で小学生との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修旅行 ● お花見、新年会
	有志によるサロン等	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 銭太鼓（伝統芸能の伝承） ● 田畑半沢を愛する会（ホテルの里の維持とイベント開催） ● まんどの会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 麦から焼酎をつくる会 ● 白百合会（若い奥さん達の集い） ● ビニールハウスでお茶会 [※自然な支え合い]

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=183)	● 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (33.9%)	● 課題があるかどうか、わからない(25.7%)	● 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない(18.0%)
地域で集まるためにあつらい場 (n=182)	● 子どもや若者など多世代と交流できる場 (34.1%)	● 趣味や教養を学ぶ場 (32.4%)	● 特に目的がなくても居られる場(32.4%)
地域のつながりや活動を活発にしていけるために必要な取組み (n=179)	● あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(44.1%)	● 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(25.7%)	● 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる(25.1%)
地区社協に期待する取組み (n=172)	● わからない(33.1%)	● 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (30.2%)	● 高齢者の交流の場(20.9%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

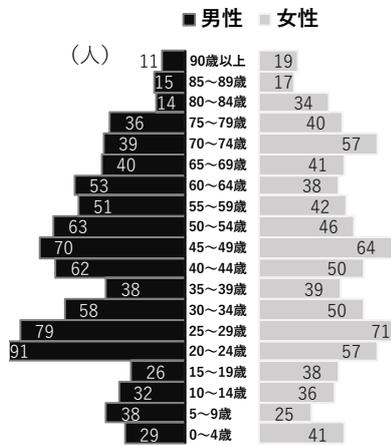
神子柴区

古くは「御腰場」と表記され、後に「御輿場」「御子柴」「神子柴」と改められました。地区内に伊那インターチェンジがあり、中央自動車道からの玄関口となっています。伊那インター線沿線は商業・業務地として栄えています。神子柴遺跡から出土した石器は、国の重要文化財に指定されており、この遺跡周辺を水源地とした簡易水道は、段丘中段及び下段の地域に水を供給しています。

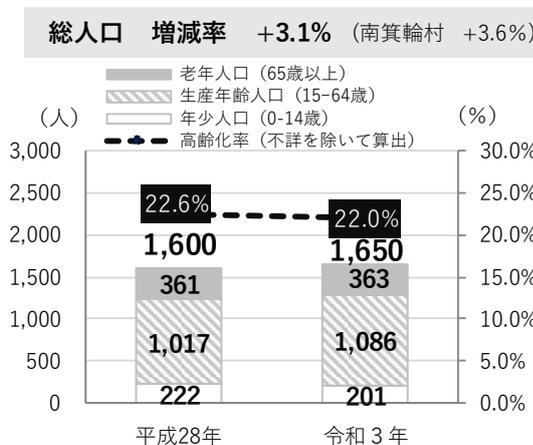
■人口・世帯等の特徴

- 総人口は、平成28年から令和3年にかけて3.1%増加しています。高齢化率は村全体よりもやや低くなっています。
- 村全体よりも、持ち家の割合が低く、区・組への加入率も低い傾向です。

人口の構造（令和3年度）



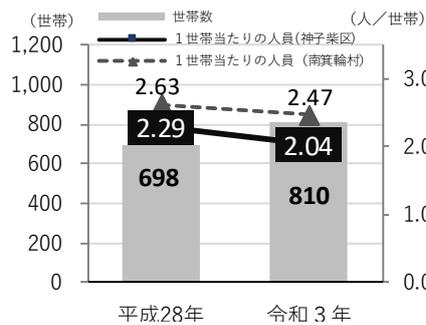
3区分年齢人口と高齢化率



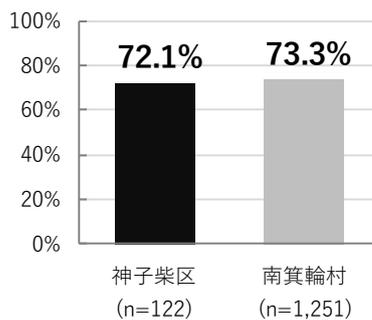
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



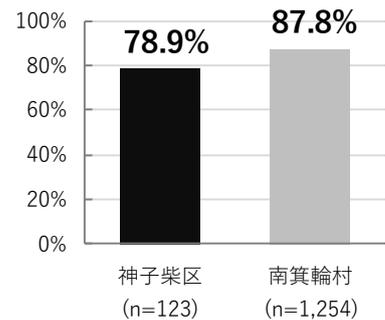
世帯数・1世帯あたり人員



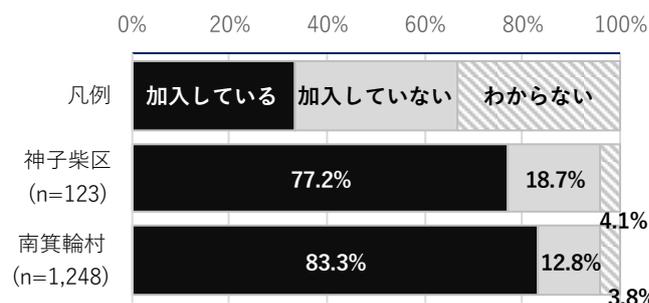
移住者の割合 (※ア)



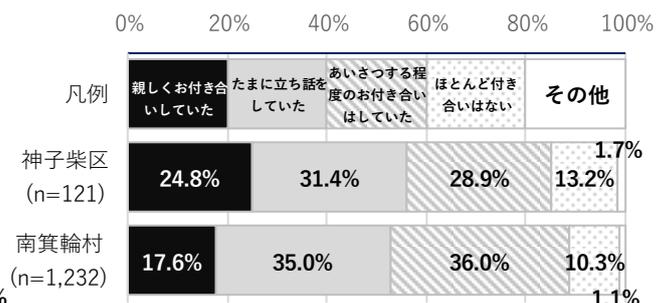
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

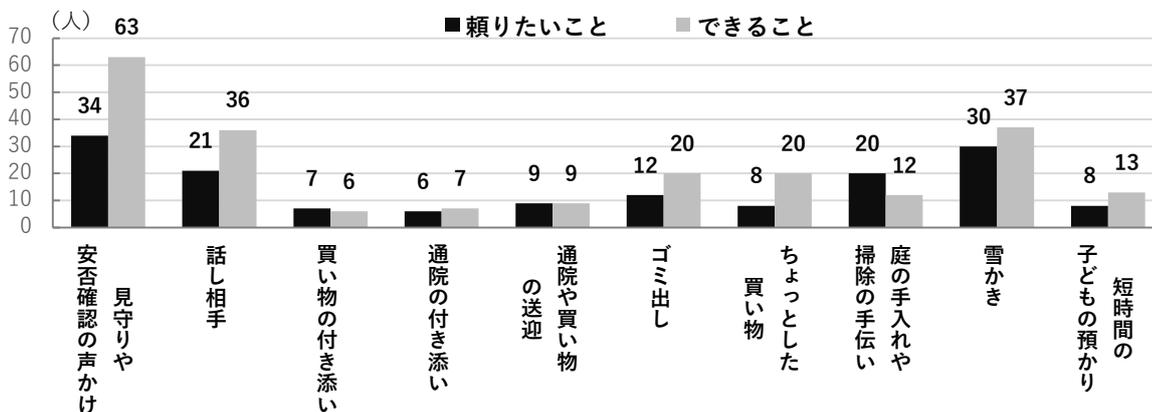


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、月に1回程度の「お茶飲み会」が行われています。有志によるサロン等では子ども向けの活動の場である「かま塾」があります。
- 多くの項目で日常生活の中で頼りたい人よりも、サポートできる人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては、「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは、「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ● 地区ごとのお茶飲み会 <月1回程度> ● 新入生との交流会、五平餅会 ● 義務教育終了を祝う会 ● お楽しみ見学会（研修旅行）
	有志によるサロン等 <ul style="list-style-type: none"> ● かま塾の活動（子ども中心、大人がサポーター） ● ピンポンふれあい

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=119)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (33.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題があるかどうか、わからない(23.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない(19.3%) ■ 自力で除雪が困難な世帯への支援体制ができていない(19.3%)
地域で集まるためにあつらい場 (n=121)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもや若者など多世代と交流できる場 (37.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 趣味や教養を学ぶ場 (35.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特に目的がなくても居られる場(31.4%)
地域のつながりや活動を活発にしていくなために必要な取組み (n=120)	<ul style="list-style-type: none"> ■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(46.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (26.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(21.7%)
地区社協に期待する取組み (n=116)	<ul style="list-style-type: none"> ■ わからない(36.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (30.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者の交流の場(22.4%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

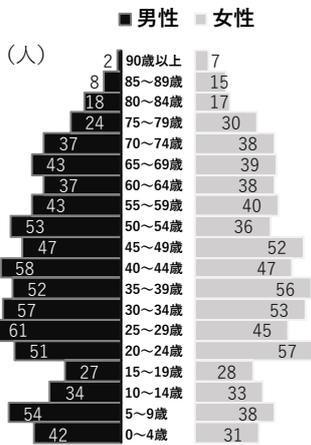
沢尻区

村の最南に位置し、地区内には上伊那農業高校、南部小学校といった教育施設があります。西天竜用水路開通以来、水田地帯として開けてきましたが、近年宅地化が進んでいます。とりわけアパートが多く、信州大学に通う学生等が多く住んでいます。樹齢 360 年を超える恩徳寺の大銀杏は、村指定天然記念物となっています。

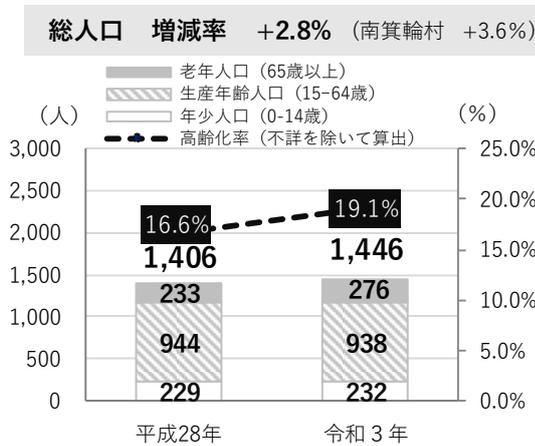
■人口・世帯等の特徴

- 人口の構造は、信州大学に通う学生等が多く住んでいることから、20～24歳が多く、高齢化率も村全体よりも低くなっています。平成28年から令和3年にかけて総人口は2.8%増加しています。
- 村全体よりも、移住者の割合が高い傾向です。持ち家の割合と区・組への加入率は12地区中最も低くなっています。

人口の構造（令和3年度）



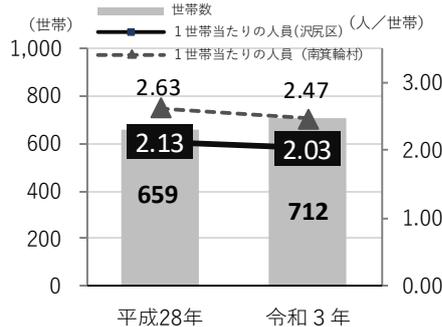
3区分年齢人口と高齢化率



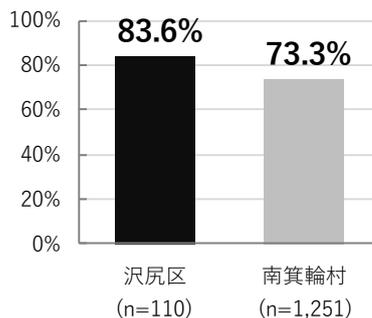
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



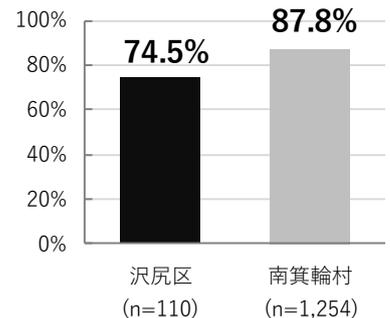
世帯数・1世帯あたり人員



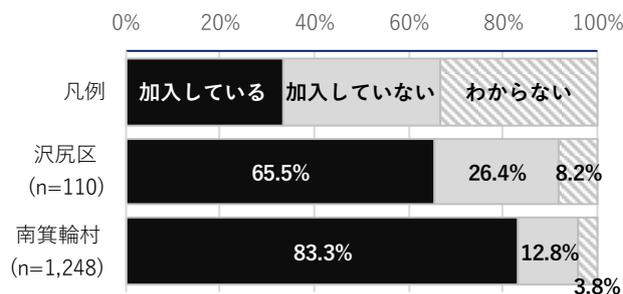
移住者の割合 (※ア)



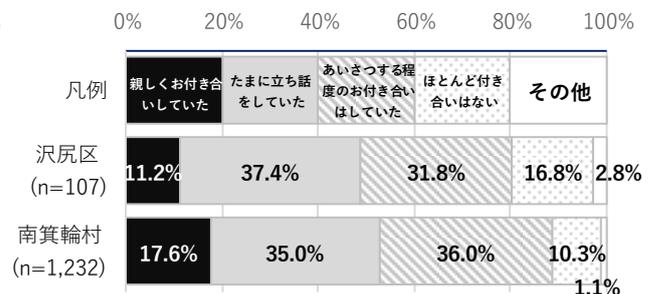
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

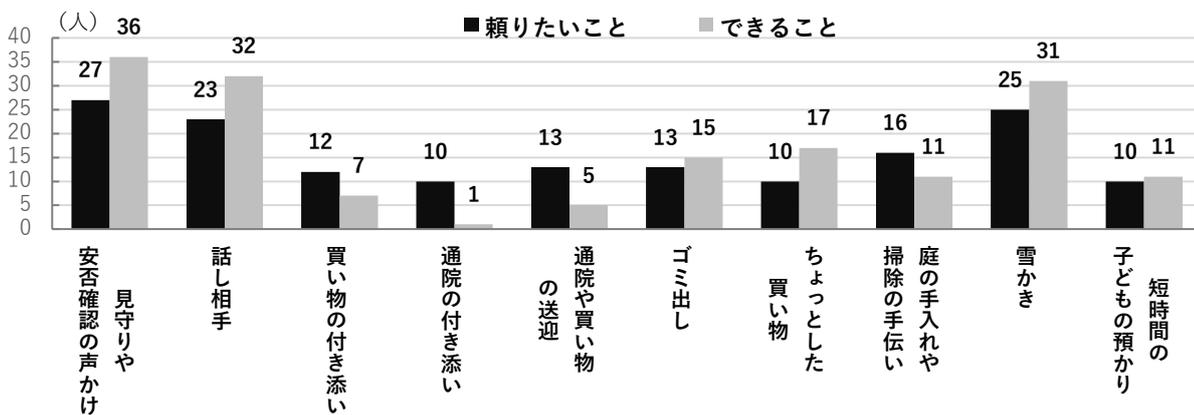


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、「施設の手入れ」や「バザー」などが行われています。有志によるサロン、自然な支え合いによる活動もあります。
- 多くの項目で日常生活の中で頼りたいことがある人よりも、サポートできる人が多くなっているものの、「買い物・通院の付き添い・送迎」では頼りたい人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。
- 地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは、「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度）	<ul style="list-style-type: none"> ● 日帰り温泉と昼食会 ● バラの鑑賞会 ● 敬老会、体操や歌での親睦会
	有志によるサロン等	<ul style="list-style-type: none"> ● ひいらぎ（公民館でのサロン） ● 自宅でのお茶会 [※自然な支え合い]

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=104)	■ 課題があるかどうか、わからない(40.4%)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している(29.8%)	■ 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない(12.5%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=106)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場(42.5%)	■ 特に目的がなくても居られる場(39.6%)	■ 趣味や教養を学ぶ場(32.1%)
地域のつながりや活動を活発にしていくなために必要な取組み(n=106)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(47.2%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる(20.8%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(19.8%)
地区社協に期待する取組み(n=104)	■ わからない(33.7%)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い(29.8%)	■ 送迎サービス(22.1%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

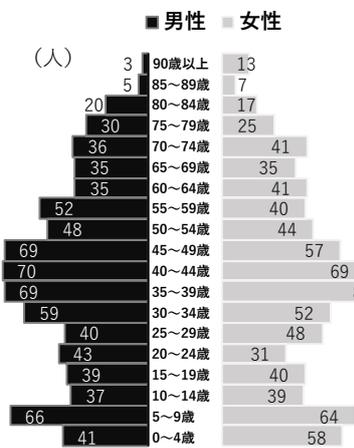
南原区

地区の西部は主に酪農地帯となっています。東部は宅地化が進み、団地も造成されています。国道361号権兵衛トンネルが開通したことにより、木曾谷からの玄関口となりました。これに伴い、景観づくりの観点から住民の手により村内初の景観育成住民協定が締結され、地区全域がその対象となりました。また、地区内には流通業の事業所も多いです。

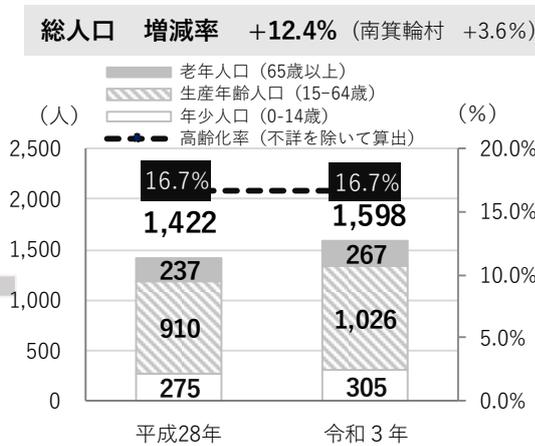
■人口・世帯等の特徴

- 人口の構造は、5～9歳と30～40代が多く、高齢化率は16.7%と12地区の中で最も低くなっています。平成28年から令和3年にかけて総人口は12.4%増加しており、12地区の中で最も高い増加率です。
- 村全体よりも、移住者の割合が高く、区・組への加入率はやや低い傾向です。

人口の構造（令和3年度）



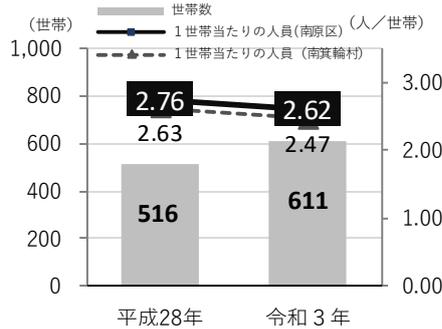
3区分年齢人口と高齢化率



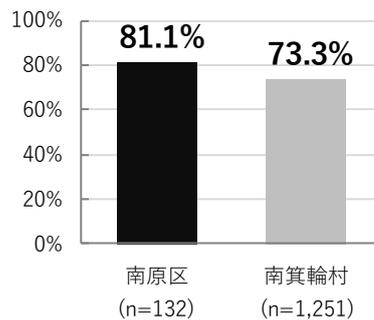
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



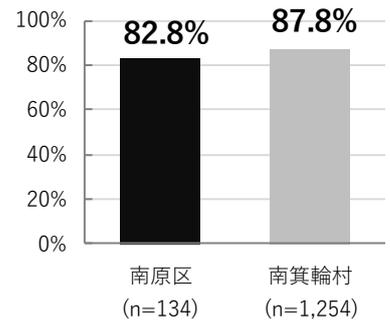
世帯数・1世帯あたり人員



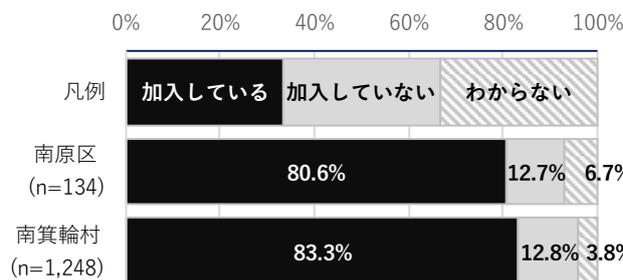
移住者の割合 (※ア)



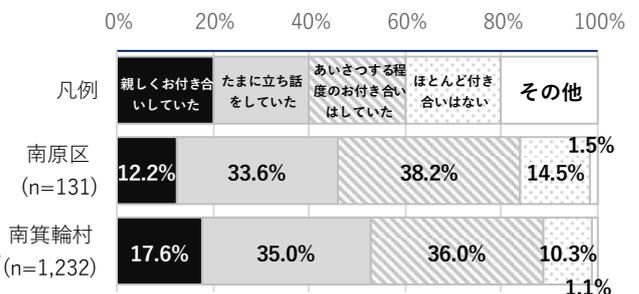
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

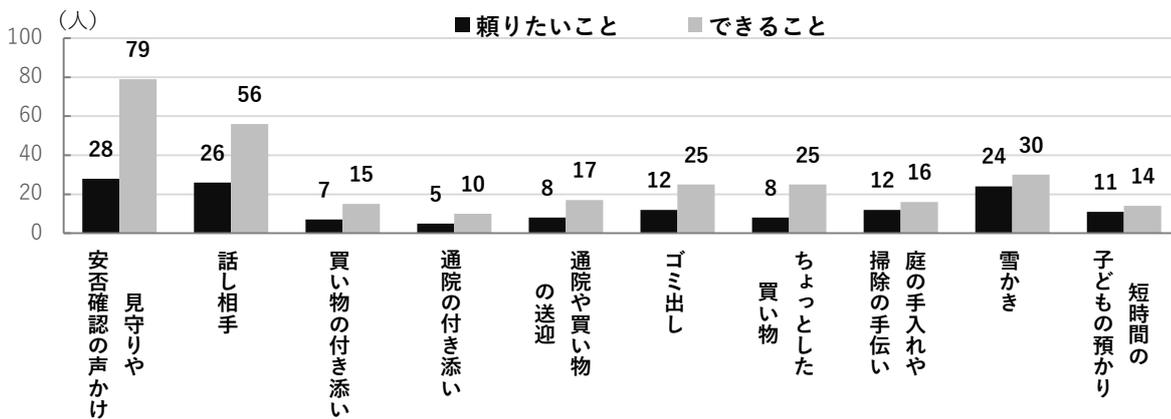


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協では、「60歳以上対象の交流会」などシニア向けのイベントの他、「園児・小学生との交流」など子どもとの交流の場があります。また、有志によるサロン等もあります。
- 日常生活の中で頼りたいことがある人よりも、サポートできる人が全ての項目で多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。
- 地域のつながりや活動を活発化するために必要な取組みは「顔見知りの関係を広げる」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動（令和元年度）	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 60歳以上対象の交流会（音楽レク、歴史の勉強会等） ● ラジオ体操＜7月末～8月上旬＞ ● 園児・小学生との交流（昆虫食の講座、クリスマス会） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本づくり ● 敬老会 ● 男性のための料理教室
	有志によるサロン等	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 体操・ピンポンの会 ● やろう会（健康マージャンの会） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小屋でお茶会 [※自然な支え合い]

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=130)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (32.3%)	■ 課題があるかどうか、わからない (30.8%)	■ 災害が発生した際の安否確認や避難誘導の方法が共有できていない (19.2%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=130)	■ 特に目的がなくても居られる場 (42.3%)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場 (40.8%)	■ 趣味や教養を学ぶ場 (36.9%)
地域のつながりや活動を活発にしていこうために必要な取組み (n=129)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる (43.4%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (29.5%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する (20.9%)
地区社協に期待する取組み (n=125)	■ わからない (32.0%)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (29.6%)	■ 高齢者の交流の場 (21.6%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

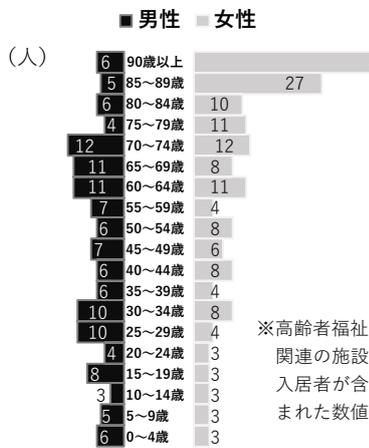
大芝区

戦後開拓されて以来、酪農を中心とした畑作農業が盛んな地区です。メロンやいちごの水耕栽培や、堆肥を発酵させて有機肥料にする取組みなども行われています。地区の西には大芝高原、東には老人ホーム等の福祉施設が位置しています。

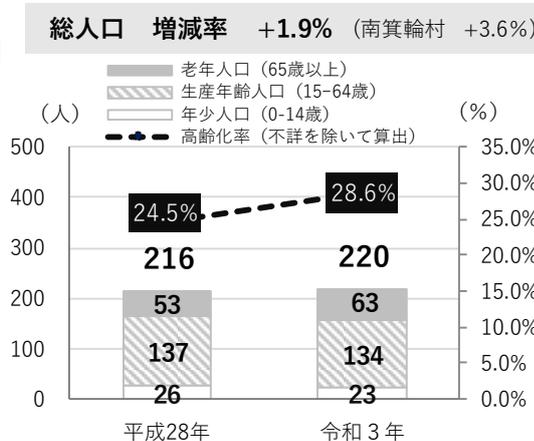
■人口・世帯等の特徴

- 人口の構造は、高齢者福祉施設があるため、80歳以上の高齢者が多くなっています。
- 高齢者福祉施設入所者以外で、高齢化率をみると令和3年は28.6%となっています。また、平成28年から令和3年にかけて総人口は1.9%増加しています。
- 村全体よりも、移住者の割合は低い傾向にあります。

人口の構造（令和3年度）



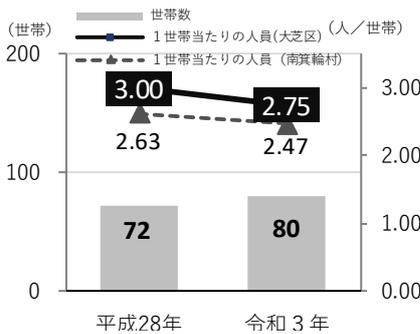
3区分年齢人口と高齢化率



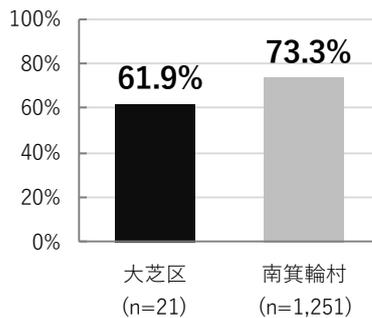
単身高齢者世帯数及び要介護認定者数と認定率



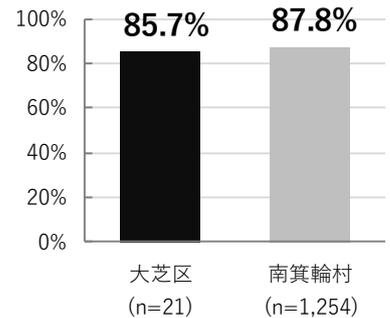
世帯数・1世帯あたり人員



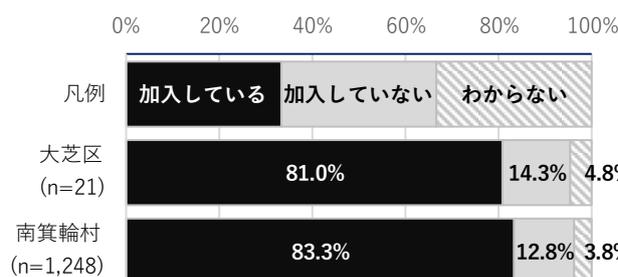
移住者の割合 (※ア)



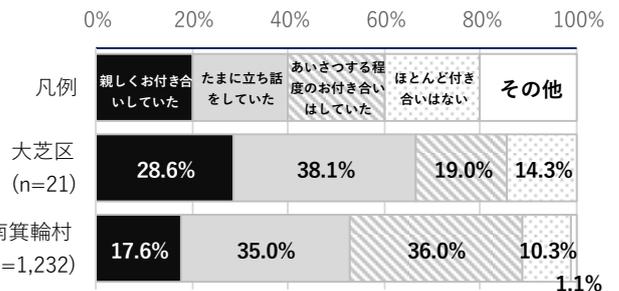
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

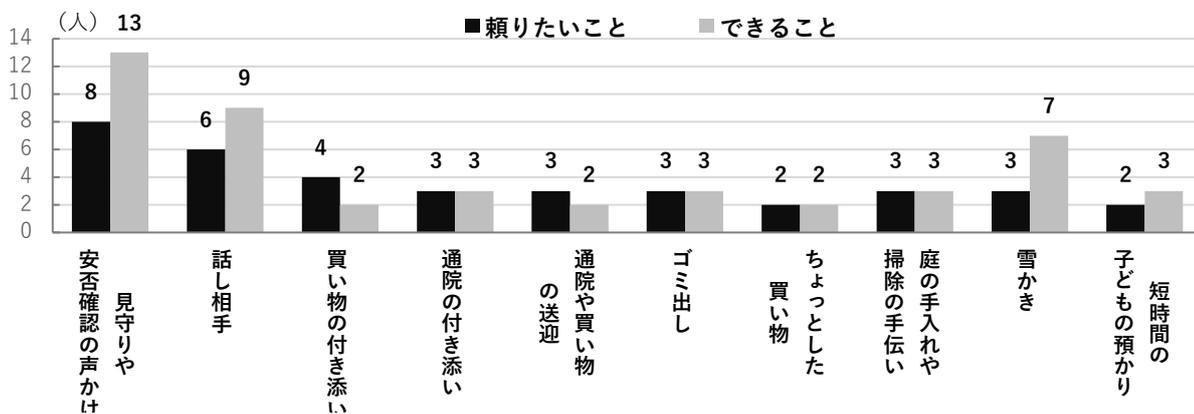


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区には、有志によるサロン「ご近所女子会」があります。
- 「見守りや安否確認の声かけ」、「話し相手」、「雪かき」は日常の生活の中で頼りたい人よりも、サポートできる人が多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「移動手段がなく困っている人がいる」、「高齢者が暮らしにくい」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	有志によるサロン等 <ul style="list-style-type: none"> ● ご近所女子会（多彩な内容のサロン）
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=21)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (42.9%)	■ 車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる (38.1%)	■ 高齢者が暮らしにくい (28.6%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=21)	■ 特に目的がなくても居られる場 (42.9%)	■ 簡単な体操など、体を動かす場 (38.1%)	■ 子どもや若者など多世代と交流できる場 (38.1%)
地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取組み (n=19)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる (47.4%)	■ 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (31.6%)	■ 賃貸アパートの入居者など、新たに住む人との関係づくりを強化する (31.6%)
地区社協に期待する取組み (n=21)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (33.3%)	■ 送迎サービス (33.3%)	■ 高齢者の交流の場 (23.8%) ■ 高齢者と子どもなど多世代の交流の場 (23.8%) ■ わからない (23.8%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

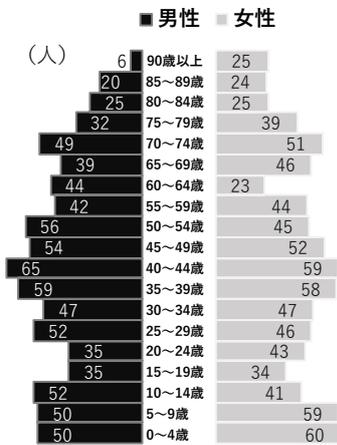
大泉区

古くから春日街道沿いの宿場として栄え、大和泉神社、勝光寺などの史跡や鹿祭り、「御嶽山（江戸時代から受け継がれる祝い歌）」など、今に残る伝統文化が多い地区です。地理的に扇状地の中間にあたるため、かつては水の確保が困難で、住民は大泉所山から水を引き、横井戸を掘るなどの事業を実施しました。

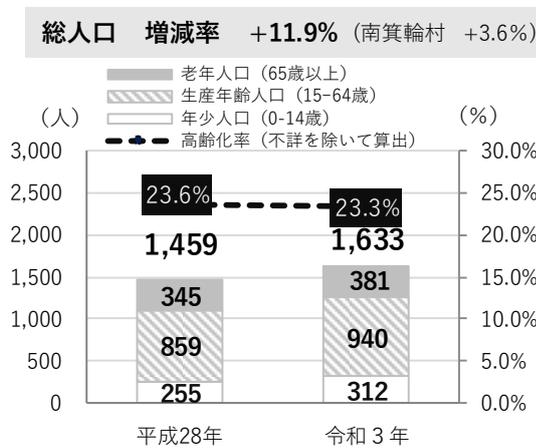
■人口・世帯等の特徴

- 人口の構造は、平成28年から令和3年にかけて総人口は11.9%増加しており、南原区に次いで高い人口増加率となっています。
- 村全体よりも、持ち家の割合が高く、区・組への加入率も高い傾向です。

人口の構造（令和3年度）



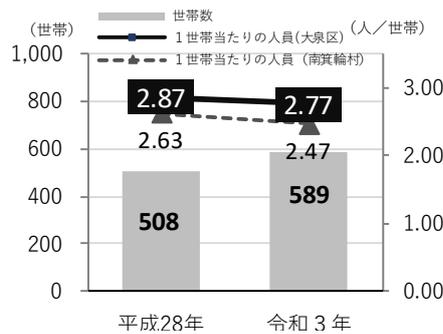
3区分年齢人口と高齢化率



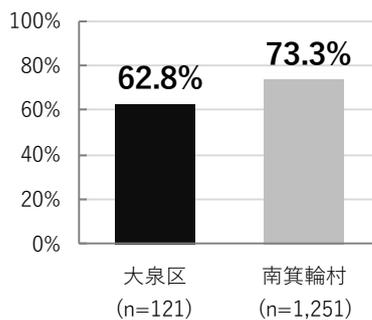
単身高齢者世帯数及び 要介護認定者数と認定率



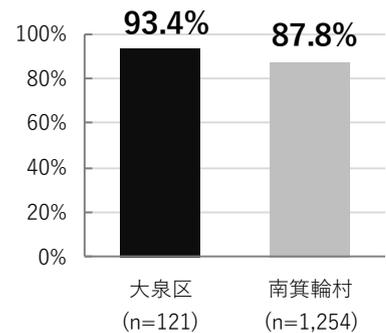
世帯数・1世帯あたり人員



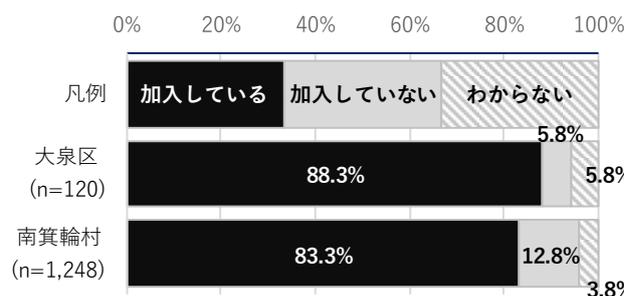
移住者の割合 (※ア)



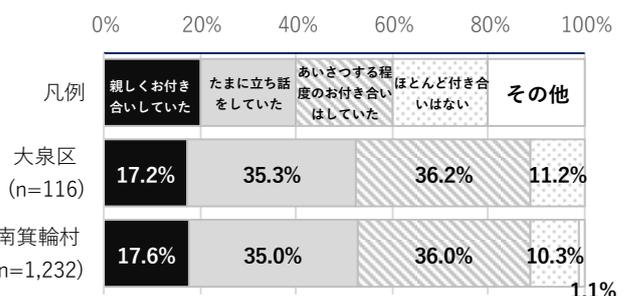
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

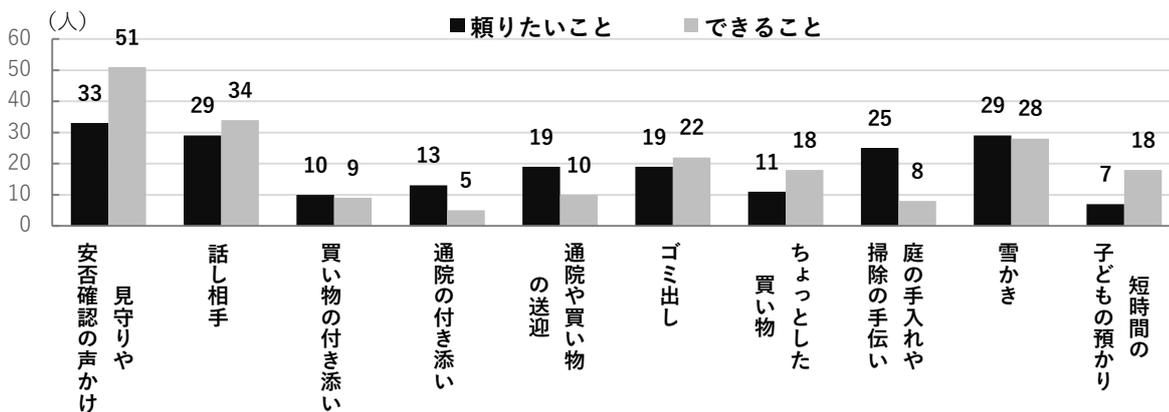


■地域での活動や福祉課題、必要な取り組み等

- 地区社協（日の出の会）では、「小学生との交流」など子どもとの交流の場が行われています。また、有志によるサロン等も多くあります。
- 「見守りや安否確認の声かけ」や「話し相手」は頼りたい人よりも、サポートできる人が多くなっています。「買い物・通院の付き添い・送迎」や「庭の手入れ・掃除の手伝い」は頼りたい人が上回っています。
- 地区の福祉課題としては「新型コロナウイルス感染症予防による活動の中断」が多く、次いで「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動〔日の出の会〕（令和元年度） <ul style="list-style-type: none"> ● 博物館等の見学、研修 ● 小学生との交流（料理教室、七夕まつり、6年生を送る会） ● 社協まつりへの参加 ● クリスマス会 ● すこやか健康教室
	有志によるサロン等 <ul style="list-style-type: none"> ● 福寿会（老人クラブ） ● おいでなんしょ縁側サロン ● ホタルの会

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること（※ア）



地区の福祉課題や必要な取り組み等（※ア）

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと (n=113)	● 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している (30.1%)	● 課題があるかどうか、わからない(28.3%)	● 車が運転できないなど、移動手段がなく困っている人がいる(23.9%)
地域で集まるためにあつたらいい場 (n=120)	● 子どもや若者など多世代と交流できる場 (35.8%)	● 特に目的がなくても居られる場(31.7%)	● 気軽におしゃべりが楽しめる場(26.7%)
地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取り組み (n=111)	● あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(44.1%)	● 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係をつくる (30.6%)	● 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取り組みを強化する(24.3%)
地区社協に期待する取り組み (n=112)	● わからない(30.4%)	● 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い (24.1%)	● 送迎サービス(22.3%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください。

北原区

村の北に位置し、箕輪町と接しています。戦後開拓地のひとつです。伊那西部広域農道沿いには、工業団地が形成されています。

■人口・世帯等の特徴

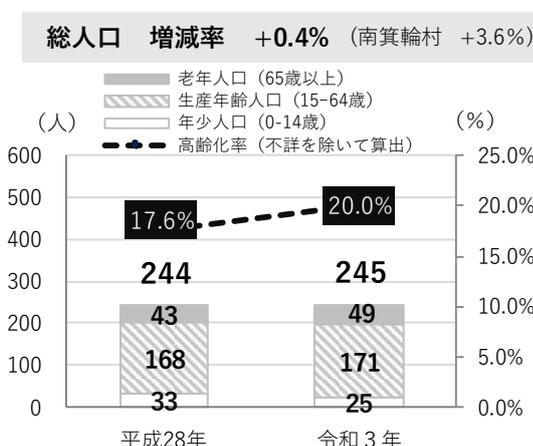
- 人口の構造は、高齢者福祉施設があるため、80歳以上の高齢者が多くなっています。
- 高齢者福祉施設入所者以外で、3区分年齢人口をみると生産年齢人口が一定数いるため、高齢化率は20.0%と村全体を下回っています。平成28年から令和3年にかけて総人口は0.4%増加とほぼ一定です。
- 人口や世帯数は12地区と比較すると、大芝区に次いで少なく人口規模の小さな地区です。
- 持ち家の割合や区・組への加入率は、村全体と同水準です。

単身高齢者世帯数及び要介護認定者数と認定率

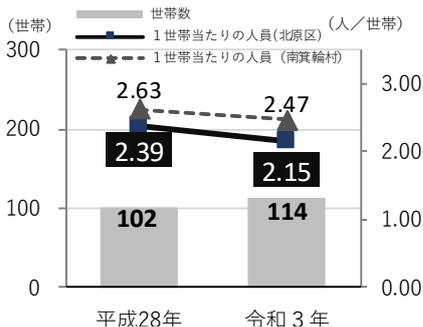
人口の構造（令和3年度）



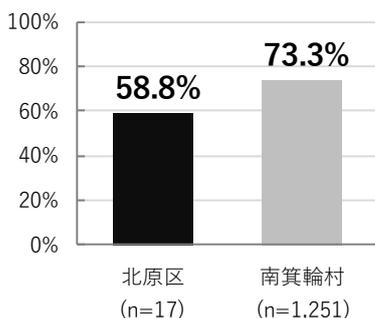
3区分年齢人口と高齢化率



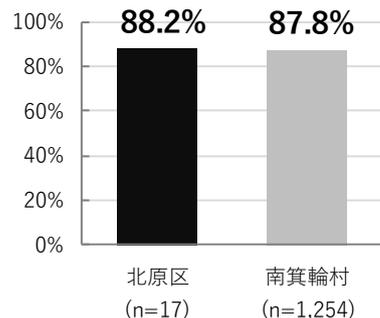
世帯数・1世帯あたり人員



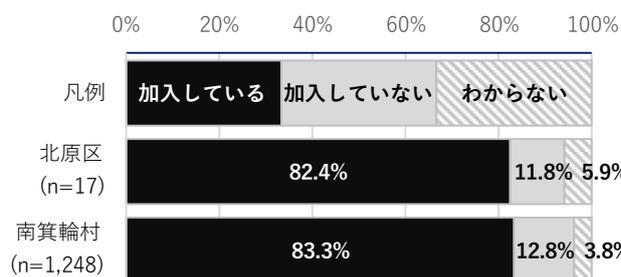
移住者の割合 (※ア)



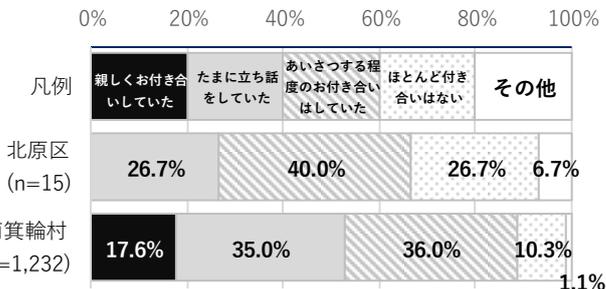
持ち家の割合 (※ア)



区・組への加入状況 (※ア)



ご近所付き合いの状況 (※ア)

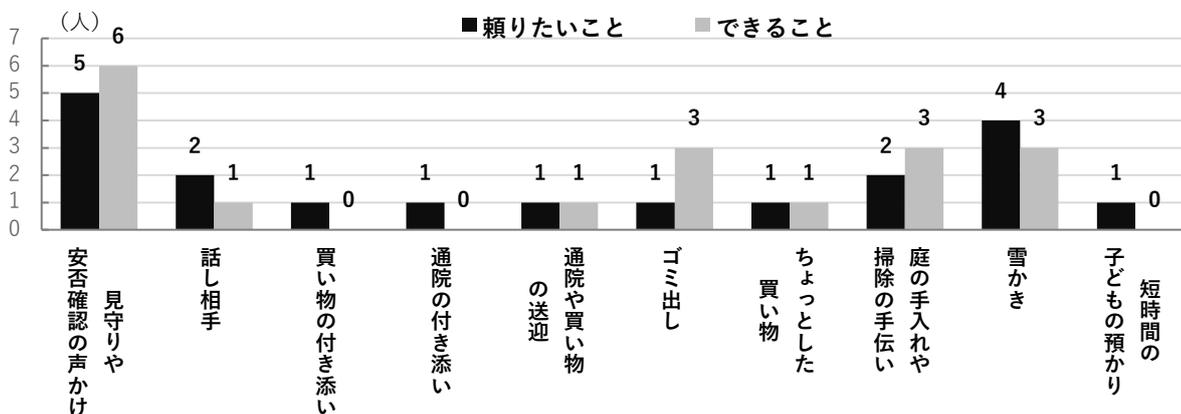


■地域での活動や福祉課題、必要な取組み等

- 地区社協（きたのはらの会）では、2ヶ月に1回程度「プラザ北原」が行われる他、「バスでの近場への旅行企画」や「スポーツ大会」などが行われています。
- 「見守りや安否確認の声かけ」で日常生活の中で頼りたい人と、サポートできる人がともに多くなっています。
- 地区の福祉課題としては「課題があるかどうか、わからない」が多くなっています。

地域で活動する 主な団体	地区社協の主な活動 [きたのはらの会] (令和元年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ● プラザ北原(区民との交流・サロン) <2カ月に1回程度> ● バスでの近場への旅行企画 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ大会 (マレットゴルフ、ソフトバレー等) ● 北原区を語る会 ● 北原区夏祭り、花火大会

日常生活の中で頼りたいこと、サポートできること (※ア)



地区の福祉課題や必要な取組み等 (※ア)

	1位	2位	3位
福祉課題として感じ、検討が必要だと思うこと(n=16)	■ 課題があるかどうか、わからない(37.5%)	■ 高齢者が暮らしにくい(18.8%)	■ 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の活動が中断している(18.8%)
地域で集まるためにあつたらいい場(n=17)	■ 特にない(41.2%)	■ 簡単な体操など、体を動かす場(29.4%)	■ 特に目的がなくても居られる場(29.4%)
地域のつながりや活動を活発にしていくために必要な取組み(n=16)	■ あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる(43.8%)	■ わからない(37.5%)	■ 行事や活動などイベントを見直し、見守り活動などの地域にとって重要な取組みを強化する(18.8%)
地区社協に期待する取組み(n=17)	■ 気になる方への見守りのための訪問やちょっとしたお手伝い(35.3%)	■ わからない(29.4%)	■ 特になく、現状のままでよい(29.4%)

※村民アンケートの結果には「※ア」と記載しています。参考値としてご覧ください